5/14（水）福祉講演会アンケート結果　　　13:30～　つつじが丘ふれあいセンター

**テーマ「家で最後を迎えられますか」**　　講師：長縄伸幸先生　103人参加

感想①「講演会を聞いての感想を書いてください」

・一人暮らしなので身につまされて聞いた。ご近所頼りで生活していこうと思

っている。「コドクシ」は覚悟している。

・まずは健康な身体を目指したい。

「お互いのささえ合いが地域を明るくする。

・講演の内容は当然とはいえとても有意義だった。後期高齢者です。

・とてもいいお話が聞けた。自分のこれからの生き方を見直すことができた。

・元気なお年寄りを増やすためには、元気なうちに社会参加（就労）できることを作っていくことがとても大事と思った。

・これからはたいへんな時代になる。団塊ジュニアが大人になる頃は、地域のささえる力、システムがないと乗り切れない気がする。自治会よ、しっかりしよう。

・地域包括ケアーの充実した地域にしていく為のシステム。「ささえあいの家」や生活支援ボランティアの構築の大切さを改めて認識した。このまちはすばらしい。

・福祉講演会に初めて参加したが大変よかった。

・「最期を迎えるために、自分自身しっかりした考えをもち,意思をはっきり持ち生きること。」勉強になった。私もそろそろ最期の覚悟をもたなければならないと思った。

・自分のできる事がすこしでも地域に役立てるような人間になれるよう努力したいと思った。「地域の人が助け合えばヘルパーは要らない」と言う言葉が印象的だった。

・これからの日本の展望がみえ、わかりやすいお話だった。

・大変具体的な説明でよくわかったが、自分の人生にはどのような最期を迎えるのか疑問だ。最期は自宅で、延命をしない。お互いささえあえる地域でいたい。

・講演内容があまりにも多すぎた。

・大変すばらしいお話だった。地域のささえあいの大切さを思った。

感想②「どこで最期を迎えたいですか」

病院0　　施設　(7%)　　自宅　(93%)　　　その他0

感想③「家で病んでおられる方、及びその家族の方に近所、地域としてできることは」

・日頃のコミュニケーションを大切にしたい。一人じゃないよと言うメッセージを伝える。・何らかの支援ができるように日頃から注意する。

・毎日様子を伺う。その家族の方に声をかける。

・話し相手、買い物の援助。・食事づくり。おかずのおすそ分け。

・どんな時でも声をかけ合い助け合う事、助けてと言えるような関係を作っていきたい。

・朝、日光浴をするように進める。